

## 1. 目標に関する評価

### (1) 住民の健康の保持の推進に関する目標

#### ① 特定健康診査の実施率に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (目標値)
56.5%						70%
目標達成に 必要な数値	58.7%	61.0%	63.2%	65.5%	67.7%	
2018年度の 取組・課題	<b>【取組】</b> 特定健診が適切かつ効果的に実施されるよう、保険者協議会等と連携し、健診の受診率向上に努めるとともに、地域と職域の連携による健診が受けやすい体制づくりや未受診の理由や背景等を分析、検討し、受診勧奨の徹底等、具体的な取り組みを進めている。					
	<b>【課題】</b> 特定健診の受診率は増加しており、全国と比べても高い値で推移しているが、国の目標値には達していない。					
次年度以降の 改善について	適切かつ効果的な健診の実施が推進できるよう、引き続き取組を行っていく。					

出典：「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」（厚生労働省）

② 特定保健指導の実施率に関する数値目標

2017 年度 (計画の足下値)	第 3 期計画期間					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度 (目標値)
25.7%						45%
目標達成に 必要な数値	28.9%	32.1%	35.3%	38.5%	41.7%	
2018 年度の 取組・課題	<p>【取組】</p> <p>特定保健指導が適切かつ効果的に実施されるよう、従事者研修会の開催や効果的事例の収集・情報発信などの支援を行うとともに、専門家からなる支援委員会等を開催し、健診データを統計的に処理・分析、評価を行い、医療保険者健診等データの有効活用やそれを用いた効果的な保健指導の推進を図る。また、健診結果に基づく県民一人ひとりの自己管理の積極的な推進を図るため「健診データしっとくナビ」の活用を推進する。</p>					
	<p>【課題】</p> <p>特定保健指導の実施率は増加しており、全国と比べても高い値で推移しているが、目標値には達していない。</p>					
次年度以降の 改善について	適切かつ効果的な健診の実施や医療保険者による健診等データの有効活用が推進できるよう、引き続き取組を行っていく。					

出典：「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」（厚生労働省）

③ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率に関する数値目標

2017年度 (計画の足下値)	第3期計画期間					
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
10.6960%						
2018年度の 取組・課題	<p>【取組】 メタボリックシンドロームや特定健診・特定保健指導に関する情報発信に努め、一人ひとりが日頃から肥満やメタボリックシンドロームの予防に心がけるよう普及啓発を図るとともに、地域で継続して生活習慣改善ができるよう、地域・職域連携推進委員会等を通じ、医療保険者が行う特定健診・特定保健指導と市町が行う保健事業の調整を図っている。</p>					
	<p>【課題】 メタボリックシンドロームの該当者および予備軍の者が、全国平均より多く、また減少していない。</p>					
次年度以降の 改善について	今後とも情報発信や普及啓発を図るとともに、地域・職域連携推進委員会等で具体的な連携について協議を行っていく。					

出典：「メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率（特定保健指導対象者の減少率を言う）（2018年度比）」（厚生労働省）

④ たばこ対策に関する目標

2018 年度の 取組・課題	【取組】 禁煙フォーラムの開催、禁煙相談の実施、禁煙外来一覧の作成、新成人を対象にした普及啓発等
	【課題】 未成年者や妊婦などに対する喫煙防止対策の推進および受動喫煙防止対策の更なる強化
次年度以降の 改善について	禁煙外来や禁煙相談の普及啓発、健康増進法に基づいた望まない受動喫煙防止対策の推進等

⑥ 生活習慣病等の重症化予防の推進に関する目標

目標	糖尿病の 40 歳以上の一人あたり医療費を 1.1%減
2018 年度の 取組・課題	【取組】 「いしかわ糖尿病重症化予防プログラム」に基づき、糖尿病未治療者・治療中断者を治療に結び付けるとともに、ハイリスク者の腎不全や人工透析への移行を防止するため医療保険者や医師会等と連携、かかりつけ医と専門医の連携体制や保健と医療との連携体制を構築することにより、専門的な治療や保健指導を行える体制を整備している。
	【課題】 糖尿病の医療費については減少傾向だが、予備群や有病者の割合は横ばいである。
次年度以降の 改善について	今後とも、石川県糖尿病連携推進会議や地域連携推進会議の中で、「いしかわ糖尿病重症化予防プログラム」の推進を図っていく。

(2) 医療の効率的な提供の推進に関する目標

① 後発医薬品の使用促進に関する数値目標

2017 年度 (計画の足下値)	第 3 期計画期間					
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度 (目標値)
72.7%	77.9%					80%
目標達成に 必要な数値	73.9%	75.1%	76.3%	77.5%	78.7%	
2018 年度の 取組・課題	【取組】 石川県後発(ジェネリック)医薬品使用推進連絡協議会」の開催 県内主要病院のジェネリック医薬品採用リストの更新・配布 一般県民向け啓発資材の作成・配布 患者へのアンケート調査					
	【課題】 後発医薬品に対する医療関係者等の信頼性の向上(品質、安定供給に対する不安の払拭) 差額が少ない患者への啓発					
次年度以降の 改善について	Web 版ジェネリック医薬品採用リストの作成・HP への掲載					

出典：「医科・調剤医療費の動向調査」（厚生労働省）